

令和3年度 学校評価書

山形県立村山特別支援学校

学校教育目標 すすんで学び、よりよく生きる人を育てる めざす子ども 心も体も元気な子ども 生活する力のある子ども 自分の思いや気持ちを伝える子ども

教育方針 (1) 一人一人が今もっている力や特性を的確に把握し、また本人や保護者の思いや願いを踏まえ、育てたい力(育成すべき資質能力)を整理します。
 (2) 必要な知識や技能、思考力、判断力、表現力などを、子どもたちが受け身ではなく主体的にすすんで学び身に付ける日々の授業を展開していきます。
 (3) 卒業後の生活の中で、暮らすことや働くこと、余暇を楽しむことなどを通して、生涯にわたってよりよく生きることができるよう人を育てていきます。

【評価】 「達成度」 A：達成できた(8割以上) B：ほぼ達成できた(6～7割) C：あまり達成できなかった(4～5割) D：達成できなかった(3割以下)
 保護者、教員アンケートによる評価<A～Dの4段階評価の内、AとB合計の割合> 達成できた(8割以上) ほぼ達成できた(6～7割) あまり達成できなかった(4～5割) 達成できなかった(3割以下)
 (教)教務部 (総)総務部 (生)生徒部 (保)保健体育部 (進)進路部 (研)研究部 (相)相談部 (情)情報部 (小)小学部 (中)中学部 (高)高等部

今年度の重点 I 安心・安全な学校

項目	具体的方策・評価指標等	達成状況	達成度 評価項目	課題及び改善策
① 登下校・授業中の安全 (学部、生徒部、保 体)	○通学指導に関し定期及び臨時に指導し、良好な通学を継続させる。(生徒) ○緊急時の対応について、分掌部や各委員会の役割分担を調整する。(危機管理、保体) ○学校生活アンケートによるいじめの早期発見、問題行動発生時に即時対応する。(学部、生徒) ○施設設備の安全管理を徹底する。(保)	○雷発生や豪雨時、JR遅延時などに安全に下校できるよう下校手段を適切に対応できた。(高) ○定期的な通学指導で安全啓発を図り、随時単独通生会を開き、ルールやマナーの指導と意識付けを行った。(生徒) ○学校生活アンケート等によるいじめの認知を行い、多方面からの聴取と、生徒部、学部、担任等で情報共有と対応を検討し、児童生徒の不安を取り除きつつ対応した。(生徒、小) ○障がい特性等からの危険行為について、個別の指導の検討や環境の整備に努めた。(小)	A 保護者1 保護者4 教員1 教員2 教員4	○駐車場内の安全確保に向け、継続的に対応する。(小) ○単独通学生の安全で良好な通学に向け、保護者や地域関係者、生徒などから情報提供があった場合は、引き続き迅速にチームで対応する。(高)(生徒) ○怪我等の発生時、状況の把握、再発・未然防止に向けた具体策を周知してあたる。(保) ○いじめ等の問題行動、校内での安全について配慮し予防的な指導を重視し、これまで以上に学部や担任と連携して個々への対応を検討し取り組む。(生徒)
② 新型コロナウイルス感染症対策を講じた学習環境 (保体、学部、教務、学習 研修)	○マニュアル修正と感染症予防対策を講じる。 ○学校行事に係る検討を行う。(教務部) ○教育課程、校外学習等の見直し、各種行事へ迅速に対応する。(教務)	○感染対策を講じ教育活動を継続できた。校内での感染等がなく、継続指導によりマスク着用や手洗いができるようになってきた。(小・保) ○感染症予防の観点から、図書室を職員のみ入室として児童生徒が利活用できるようにした。(学研) ○県レベルに応じて迅速に対応し、校外学習や調理学習の可否や感染状況に応じた学習を提案した。儀式等は情報部の協力のもとzoomで実施して安全に教育活動を行うことができた。(教務)	A 保護者1 教員5	○マスク着用抵抗のある児童には、短時間からなれるようにし、手洗い、正しいマスク着用の重要性について継続指導していく。(小・中・保) ○図書室の活用を促すためにも、感染症対策を講じた、図書室解放に向けて検討していく。(学研) ○儀式等をzoomで行う際の準備や実施はけ、情報部を中心としながらも複数の分掌がチームで協力運営していく。(教務)
③ 家庭や関係機関と連携した心と体の健やかな育成 (保体、生徒、学部、相談)	○性教育(保体) ○不登校児(生)の対応(学部) ○児童生徒への支援に関して市町及び県等の外部関係機関との連携をより強化し、切れ目ない支援の充実を図る。 ○ケース検討会(相談、学部)	○教職員対象の性に関する研修会を実施し、理解を深めることができた。校内では『からだ・いのち・こころの学習』を、12月までに100%実施できた。保護者の悩みや質問にお便りを通して回答できた。(保) ○ケース会や関係機関との連携会議等を行い情報交換・共通理解のもと、チームで児童・生徒に指導することができた。(小)(中)(高)(相)(生徒)	A 保護者7 保護者8 教員3	○継続した支援のために、相談部や管理職と相談しながらよりよい支援・連携を行う。(小・中・高・生徒) ○外部専門家配置事業の活用など関係機関との連携を図り、家庭をも含めた生徒指導について探る。(中・相) ○『からだ・いのち・こころの学習』について、小4以上は体育や保健体育、小1～3年は日生や生単等で計画的に取り組み、実践記録を次年度に繋げる。また、教職員と保護者対象の研修会を実施し、性教育の必要性を共有できるようにする。(保)
④ 働き方改革の取組	○行事等のスリム化を考慮し、運動会等、学年交流について山形校・天童校とで連絡調整する。(小) ○定時退校日を設定し実施する。	○連絡はGWを活用し、学部の時間短縮や学部の時間に来年度の生活単元学習の年間指導計画作成を行うなど有効に会議を活用した。(小)	A 保護者9 教員14 教員15 教員16	○来年度より、運動会や学校行事は各校で実施予定となった。コロナ収束時、学年毎の直接交流を年1～2回設定とする。(小) ○月2回の定時退校日を継続すると共に、計画的な業務遂行を行う。

今年度の重点 II 一人一人に応じた指導・支援の充実

項目	具体的方策・評価指標等	達成状況	達成度 評価項目	課題及び改善策
① 個別の指導計画の活用による児童生徒が身に付ける力を明確にした指導の充実 (教務、学研、学部)	○新様式について研究部と連携し、記載例を含めマニュアル化し活用をする。(教務) ○新学習指導要領と今年度の年間計画をもとに児童生徒の発達段階及び連続性、系	○「個別的教育支援計画・指導計画作成マニュアル」を作成し活用できるようにした。 ○国語・算数の学習内容やグルーピング、教材の情報交換を行い、実態に応じた学習を組むことができた。(小) ○国語・数学を教科として設定し、年間学習指導計画をもとに教科	A 保護者3 教員6	○「合わせた指導」を指導する際の根拠や目標設定、評価について、単元を通す中で教科ごとにねらっていることを明らかにするような年間指導計画や個別の指導計画を検討していく。 ○保健体育について、学習グループや単元の配列等について検討し年間学習指導計画の修正と活用を行う。(中)

	<p>統性のある内容・学習評価を検討する。(中) (学部)</p> <p>○オンライン、むらとく公式YouTube等、ICT利活用に向けた、教科・領域等の教材開発を進める。(学研・情報)</p>	<p>の内容を履修できようし学部内で教材や指導方法について情報交換、指導の工夫を行った。(中)</p> <p>○学習で取り組んでいるダンスなどの動画の選定を進めている。(学研)</p> <p>○むらとく公式Youtubeに動画教材(高等部窯業班)を載せて教員や生徒と共有できた。また生徒用のGアカウントを作成し、ドキュメントを使った学習を行った。(情)</p>		<p>○国語・数学を教育課程に設置するに当たり、小中学部からの系統性や他教科との関連性を図り、年間学習活動計画を作成する。(高)</p> <p>○GIGAスクール構想に伴い、一人一台端末の活用に向けた整備を整える。また、学部や作業班毎にGアカウントを作成し、動画教材の共有や活用を拡げていきたい。(情)</p>
② 一人一人のニーズに合わせた進路指導・就労支援の充実(進路)	○年度初めの進路説明会で、個別相談できる時間を設定し、保護者間で情報交換できるように工夫する。また、全体実習説明会も兼ねる。(進)	○高1後期実習説明会で、個別相談できる時間を設定し、進路担当、主任、担任で対応できるようにし、参加した保護者全員が個別に実習先について相談することができた。	A 保護者 教員7	○高等部前期実習で2・3年生が希望する実習先で実施できるように、実習予備日を設定する。
③ 教員の専門性向上(相談、学研、学部、研)	○小・中・高校へ、相談部員全員が巡回相談等に当たるよう事前検討会の充実と部内研修により相談力を養う。(相)	○相談内容について、事前に相談部内で意見を集約してから巡回相談に当たった。複数の角度からの考えを持ち寄り、事例をより多面的に捉えられた。相談内容により、2人態勢で巡回相談に当たり、相談部員が実践力を培うことができた。(相)	A 保護者3 教員8	○初めて巡回相談に当たる場合は、可能であれば複数で対応していく。(相)
	○研修内容と研修方法を職員で検討し、研修会を実施する。(学研)	○ミニ研修会、専門性向上のための研修会を研究部とタイアップして開催できた。(学研)		○学校研究と絡めながら研究部と連携を図りながら研修会を行うとともに、職員からも研修会の希望を取っていく。(学研)
	○運動のチェックシートを作成し、個々の実態把握に取り組む。(研)	○学部研で、学習指導要領や実技書等を根拠とした本校独自の運動技能にかかるチェックシートを作成、段階を捉え実態把握と適切な目標設定に結びつける、授業実践を積むことができた。(研)		○チェックシートの効果や課題を整理し、次年度研究への結び付け方を明らかにしていく。(研)
今年度の重点 III 楽しく充実感のある授業の改善				
項目	具体的方策・評価指標等	達成状況	達成度 評価項目	課題及び改善策
① 豊かなスポーツライフのための授業創造(研、学部)	○実態把握と指導目標と評価の一体化した授業づくりを実践研究等で深める(研)	○学部研や校内研を通じて、体育についての理解を深め、全学部で体育や運動遊びについて授業実践を重ねることができた。(研)	A 保護者3 教員9 教員11	○今年度の反省を生かした実践研究会や授業研究会を設定し、「できた!」「楽しい!」「もっとやりたい!」を目指す授業づくりに取り組み、豊かなスポーツライフに結びつく成果や課題を整理していく。(研)
		○研究を深めるために、本校卒業生を対象とした運動実態アンケートを実施し、卒後の豊かなスポーツライフにつなげていくための指導等について考察し、職員全体で確認する機会をもつことができた。(研)		○授業実践について学部間での情報交換をスムーズにしていく。(研)
		○校内研と実践研で実態把握のためチェックシートを活用し、投運動についての段階的な指導について確認しながら授業づくりを行った。生徒が楽しく取り組みながら技能面での向上と新しいことにチャレンジしたりする様子が見られた。(小・中)		
② 外部資源の協力要請、活用(情報、学研、学部)	○積み重ねを大切にし、交流学习の継続・充実を図るため、交流先と丁寧に連絡調整を行い、感染対策を講じた計画実施ができるようにする。(学研部、学部)	○コロナ禍にあり、地域や居住地校との交流が叶わなかった。居住地校交流では、相手校との連絡を取り、手紙等での間接交流を行うことができた。(学研)	A 保護者5 保護者6 教員10 教員12 教員13	○交流先と丁寧な連絡調整を行い、交流活動を有意義なものにし、交流学习を継続していく。(小)
	○感染対策を講じた、授業参観やバザー等により情報発信に努める。(学部)	○山形聾学校と自己紹介やビデオレターなどで交流することができた。(中・高)		○地域とつながる事業では、学校独自の運営となるが、意義に寄りコロナ禍においても工夫して継続する。(学研)
	○画像を使ったホームページの検討を行いホームページ充実させ情報発信を行う。(情)	○感染対策を取り、小学部では、前期2日間の授業参観を全家庭から、中学部では7月の授業参観と体育まつりのVTR視聴、11月校内バザーを実施し、学習の様子を保護者から見ていただくことができた。高等部は、校内バザーを場所のローテーションや時間を工夫し実施することができた。(小・中・高)		○新型コロナの状況に応じて、参観の時間や人数の調整、運動会やバザー等の実施の工夫を行い、保護者への情報発信をしていく。(中)
	○PTAだより「きずな」を近隣地域に回覧してもらい、情報発信を行う。(総)	○分校の担当者に連絡し、本校でHP掲載するか検討している旨を伝え、共通理解を図った。(情)		○授業参観の期間を長くとったり、参観の人数を調整したりすることで、参観していただけるようにする。(高)
		○今年度「きずな」26号、27号(3月発行)を発行し、近隣地域に回覧板で回していただいた。(総)		○許可をもらっている保護者もいるが、ホームページに載せることで誰でも見られるようになることから検討が必要。(情)

<学校評議員会より>

- ・新型コロナウイルス感染予防のため、学校外での活動が制限される中、校内の消毒や感染予防の工夫、学習や進路についてきめ細やかな対応が適切になされ、できる範囲で最大限の教育活動、学校祭や修学旅行も実施できている。学校の休校・学年閉鎖等の対応が迅速で、保護者は安心できた。コロナ禍の中においても、学校での我が子や他学部の様子を保護者が知ることができるよう、授業参観等のやり方を検討いただけるとありがたい。
- ・「新型コロナウイルス感染症のまん延により、控える・縮小する・中止すること」と「たとえ新型コロナウイルス感染症がまん延していても児童生徒に必要なこと(教育的ニーズ)と判断して実践・実行すること」を明確化して教育を行っている。
- ・高等部卒業後、地域、社会で豊かに生活していくために、学校と地域のさらなる連携強化の必要も感じている。
- ・公共施設を活用し、校外学習の一環として学校周辺地域をフィールドとして学習をすることは、とても良いと思う。コロナ禍の中、困難が伴うが密を避けると共に感染対策を徹底しながら、このような学習を可能な限り推進していただくことを期待したい。